

2022年1月



## 親切会

### 関東支部便り (No.17)

連絡先：〒101-0032

東京都千代田区岩本町 2-9-6

ゆいまーるひたち 4階

電話：070-3603-2172

メール：shinsetsukai-honbu@hdq.hitachi.co.jp

#### 第17回支部幹事会を開催

我が国は新型コロナウイルスのワクチン接種が進み感染者数もようやく減少し、日常生活が戻りつつある中で、収まったと思われた欧米を始め世界中で感染が拡大し、かつ南アで発見された新たな変異型「オミクロン株」が感染拡大しています。こうした状況下ですが支部活動は寄付先の見直しと寄付額の一部削減を行い12月より幹事が分担して「寄附先訪問」を開始しています。

その最中、第17回支部幹事会は12月15日(水)15時からゆいまーるひたち6階、大会議室で開催されました。まず、鈴木支部長から「今回は寄附先に直接訪問できた。新たな変異型の感染が国内でも始まったので慎重に対応してほしい」と挨拶がありました。続いて新たに法人会員で幹事に就任して頂いた日立システムズフィールドサービスの牧野さん、社会保険労務士法人なんの木事務所の高杉さんのお二人より挨拶がありました。

議事に入り、今年度の寄附先訪問の実施状況について報告があり、次回に個別詳細報告をすることになりました。次に企業再編に伴い法人会員の日立グループからの離脱やコロナ禍のための歳末募金活動の減少のために、親切会財政が大きく悪化しており、その対策の一環として新たな法人会員の開拓と大手法人に対する口数増を依頼しており引き続き継続して対策に当たる旨確認をしました。また、当会活動のPRのためのホームページの改訂では経費の面から、新しい会社に運営を委託する方向で進められており、各支部の意見を反映して4月頃に新しいHPとなる予定です。善行者表彰は小中学校の校庭などに植樹をする「いのちの森づくり」活動に取り組んでいる林田雅之さんを表彰することにしました。詳細は次号に報告します。次回の開催は、3月16日(水)を予定しています。

コロナによる社員食堂の閉鎖等によりこれまでお願いしてきました年末募金などが大幅に減少しています。ぜひ会員のご紹介並びにご寄附にご協力をお願いします。

個人会員	年会費	2,000円
------	-----	--------

法人会員	年会費	36,000円
------	-----	---------



(上記便りの連絡先)にご連絡いただければ申込書(払込用紙)を送らせていただきます。

個別ご寄附のほか、お仲間の懇親会の残金などのご寄附を頂けるときは、事務局までご連絡願います。

#### みんなが集まる大きな木に！

早いもので、新型コロナウイルス感染が始まって3年目に入りました。

NHK大河ドラマ(第60作)「青天を衝け」は、前年の「麒麟がくる」の放映が年明け、2月14日放映開始となり、更に東京五輪・パラリンピック期間中の休止も加わり、全41回で終了となりました。皆様ご承知のように、約500もの企業の設立に携わり「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一は、一方で社会福祉活動にも熱心に取り組みました。

渋沢が活躍した近代初期から1920年代までは、福祉が殆ど何もない時代で、この時期に、東京養育院という施設で高齢者、病者など生活困難な人を支援し、長く院長として維持、発展に尽力しました。



その活動の財源となる寄付金集めにも奔走し、いつも大きなかばんを持ち歩いていたとの話も伝えられています。

全国社会福祉協議会という福祉団体がありますが、民間の立場で地域福祉を推進する全国組織で、初代会長が渋沢でした。

「親切会」は相手の立場に立って、感謝の気持を持つことが親切の基本とし、そのモットーは「小さな親切」「ささやかな福祉貢献」です。世の中には困っている人達が沢山います。『一人ではささやかだけれど、大勢集まれば何か纏まったお手伝いが出来るのではないだろうか?』このような考えを持っている人達の集りが「親切会」なのです。その活動資金は会員の皆様の会費と寄付金です。

ここに来て、関東支部に於いては、企業再編に伴う法人会員の減少やコロナ禍の影響での社員食堂閉鎖などによる歳末募金を中心とした寄付金収入が大きく減少し、寄付先の見直しや寄付金額の削減という措置を取らざるを得なくなっております。会員の皆様のご厚意を伝え、長きに渡って蓄積してきたこの活動を更に大きなものとしていくことの大切さを、改めて痛感しているところです。

今後とも、会員の皆様の引き続きのご支援と、「もっと多くのみんなが集まる大きな木」となるよう会員(法人、個人)の拡大及び寄付金増へのご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

(三浦武裕 記)



## 関東支部役員に新たに法人会員2名就任！

関東支部は2017年に組織体制を見直しOB中心の活動を開始しておりますが支部の組織運営はより客観性と透明性のある組織運営とするため“執行”と“監督”を分離した形での運営を目指してきました。今回、2法人の幹事に加わって頂くことで実質、法人幹事さんと監事による“監督”とOB幹事による“執行”の運営を行っていきたくと存じます。



前列左から(城)(高杉)(牧野)(倉持)(鈴木)  
後列左から(楠本)(三浦)(会田)(下村)  
(井草)(平沢)(伊藤)(鈴木健) 敬称略  
\*日立産機システムさんは当日事務所の移転と重なり  
ご欠席

(2021. 12. 15 現在)

氏名	区分	所属 (OBの方は最終所属)	備考
倉持 武宣	法人	日立ドキュメントソリューション	
吉田 哲哉	法人	日立産機システム	(代)秋山貴之
牧野 吾郎	法人*	日立システムズワールドサービス	(代)前川佳延
藤倉 貞聡	法人*	社会保険労務士法人なんの木事務所	(代)高杉和彦
鈴木 學	OB	日立 常務	支部長
井草 剛仁	OB	日立通信システム	本部長(兼)
鈴木 健二	OB	日立マクセル	監事
城 利一	OB	日立ソリューションズ	運営委員長
平澤 大	OB	ルネサスエレクトロニクス	同委員
会田 豊治	OB	クラリオン	同委員
伊藤 小一郎	OB	日立トラベルビューロー	同委員
三浦 武裕	OB	日立アプライアンス	同委員
下村 建基	OB	なんの木社労士事務所	同委員(本部理事)兼
楠本 安男	OB	日立インフォメーションアカデミー	同委員

\* 新任

## 2021年度 寄附先訪問始まる！

昨年はコロナ禍にあつて、子供・高齢者や障害者の支援施設などではコロナウイルス感染対策をしながら運営し、作業所などでは限られた活動に制限され、ボランティアグループは学校など、対象の施設での活動が大幅に制限されました。従って、例年寄附先を訪問して寄附金をお届けし、活動状況の確認を行ってききましたが、寄附金の贈呈は金融口座への振り込みで対応しました。

今年は東京五輪・パラリンピックまではコロナウイルスの感染が拡大してきましたが、緊急事態宣言の解除後は急速に感染者が減少し、各施設でも諸活動が徐々に回復してきています。

一方、寄附する側の事情では、企業再編に伴う法人会員の日立グループからの離脱やコロナ禍のための歳末募金活動の減少等もあり、親切会財政が悪化、結果としてやむなく寄附先の見直しや寄付金額の調整を行いました。

寄附先への対応はコロナ感染状況を見ながら、11月に寄附先への連絡、12月に入って各幹事が分担して寄附金のお届けに参りました。コロナ禍での活動を制限されながらも工夫をして活動されている状況が確認されました。一部の施設は1月に入ってから寄附になります。

次号以降、個別の寄附先紹介を掲載する予定です。

下記は12月7日に訪問した日立太陽の家での小又理事長と鈴木支部長

### (日立太陽の家)

\*生活介護用の居宅介護施設、知的障がい者施設等4事業所を1ヶ所にまとめた新建屋が昨年完成。所有者である日立市から指定管理の委託を受け、当太陽の家が全体の運営を行っている。障がいの軽重、18才未満以上を基準に部屋や対応メニューを区分けしている。現在の利用者数は太陽の家本体33名、しいのき学園30名、他約45名の計約108名。  
\*軽度の知的障がい者クラスは従前通り、木工、クラフト、園芸、陶芸の作品を作って施設内で活用し、一部は販売している。本人たちの励みになっている模様。  
\*保護者専用の控え室も新設されて待機時の便利度が増し、月1回の親同士の交流会が活発化。同様に新しい喫茶コーナーは一般市民も使用できる事から自然な形で対外PR。(障がい者用歯科も隣の棟にオープン。茨城県で3番目。) <会田記>

